



オペラ「椿姫」公演準備

文化会館大ホール・ステージ前の客席を
はずしてつくられる、オーケストラ演奏
スペース「ピット」と舞台大道具

(7月28日開催)

お気軽においでください。

市民と市長の「よもやま話」の日

10月17日(火)・午後1時30分から
時間等については御相談ください。

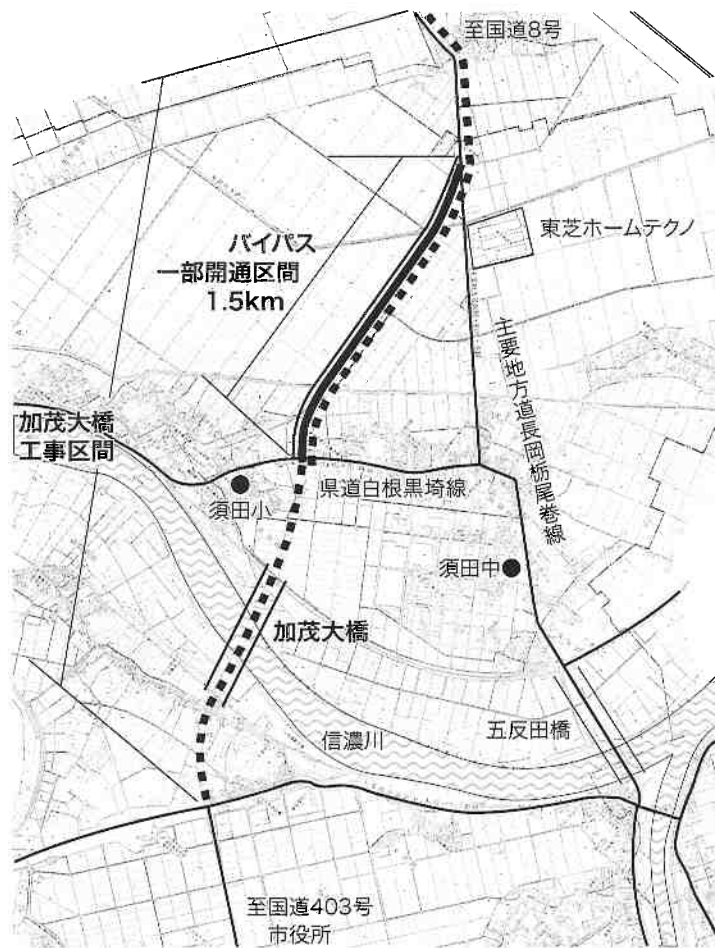
【受付・問い合わせ】 市役所3階 総務課広報広聴係
(☎52-0080 内線331)
までお願いします

主な内容

- 加茂大橋建設事業
長岡栃尾巻線バイパス 一部開通……………24
- 中央コミュニティセンター オープン……………57
- 平成17年度下半期の財政状況……………89
- 第49回 加茂市総合体育大会開幕……………11
- 加茂の風土記……………12

加茂大橋の建設事業としての

主要地方道長岡栃尾巻線バイパスが一部開通しました



七月七日、須田の加茂大橋の建設事業の一環である長岡栃尾巻線バイパスの一部、東芝ホームテクノ前からJAにいがた南蒲須田出荷センター脇までの一・五kmが開通しました。この道路は、須田工業団地への通勤や物資の流通、市内外への通勤通学の要所です。

当時の亀井静香建設大臣の特別の御配意により、平成九年四月に公共事業に採択された加茂大橋の建設事業の一部をなすものです。

このバイパスで信濃川に架かる加茂大橋は、すでに九基の橋脚が完成し、現在は兩岸の橋台の建設が進められています。加茂大橋は、橋の長さが五百五・八mで平成二十一年度完成することになっています。加茂大橋の橋梁建設工事と並行して、この橋につながる道路の建設がさらに進められます。

全線開通後は、五反田橋の渋滞が緩和されるとともに、市内から須田工業団地、国道八号線への所要時間が短縮され、さらに、磐越自動車道、巻・黒埼方面、三条・長岡方面をも視野に入れた流通および経済活動



現地でのテープカット



式典会場



開通式パレードを見守る須田保育園園児



開通したバイパス道路

の大動脈となります。

公民館須田分館で開催された開通式典では、小池清彦加茂市長が「今日、全工区の半分が開通し、将来の見通しがつきました。また、平成二十一年度に橋梁部分 completes する予定であり、すでに予算も県の継続費として議決されています。加茂大橋は須田地域や加茂新田地域の皆様の長年の夢でもあり、これからもしっかりと努力してまいります」とあいさつしました。続いて、泉田裕彦新潟県知事に代わり小熊博副知事が知事からのお祝いを代読され、菊田まきこ衆議院議員、森ゆうこ参議院議員、黒岩宇洋参議院議員、柳川城二国土交通省北陸地方整備局長に代わり今野和則北陸地方整備局道路部地域道路調整官、関龍雄加茂市議会議長がお祝いを述べられました。最後に新潟県三条地域振興局の眞田弘信地域整備部長が工事報告をされました。

式典後、開通区間の現地では、須田地域の大勢の皆様や須田保育園の園児たちが見守る中、テープカットが行われ、加茂警察署のパトカーを先頭に三十三台の自動車による開通パレードが行われました。



森 ゆうこ 参議院議員



菊田 まきこ 衆議院議員



新潟県知事代理
小熊 伸 副知事



関 龍雄 市議会議長



北陸地方整備局長代理
今野 和則 地域道路調整官



黒岩 宇洋 参議院議員



パトカーを先頭にスタートしたパレード



新潟県三条地域振興局
眞田 弘信 地域整備部長



小池 清彦 加茂市長



加茂大橋の完成図

五番町にお風呂と多目的ホール等を備えた中央コミュニティセンターがオープンしました



中央コミュニティセンター・地域交流センター

七月二十二日、五番町に中央コミュニティセンターがオープンしました。五月十一日に開店したにいつフードセンター加茂五番町店を含めて、地域交流センターと中央コミュニティセンターの施設全体が完成しました。

中央コミュニティセンターの一階には、かも川荘、ゆきつばき荘、下条・七谷・須田の各コミュニティセンターに続き「百円風呂」がつけられています。二階には、大通りに面して、六十畳の大広間があり、湯上がりやお買い物物の休憩にご利用できます。中央コミュニティセンターの奥の地域交流センターは、一階ににいつフードセンター加茂五番町店があり、今回オープンした二階部分には、百八十六畳相当の多目的大ホール、八十八畳の和室と二十九畳相当の伝統工芸品製作体験室・ボランテニア団体作業室がつけられています。

施設は、平成十四年九月に閉店した「まるよし五番町店」の建物と土地を加茂市が買い取り、国のまちづくり交付金事業を利用してつくられました。これには、旧まるよし関係の建物の改修に一億七千万円、中央コミュニティセンターの建設に一億円、駐車場や催しに利用できる多目的広場に五千万円がかかりますが、まちづくり交付金事業により国が四三％を負担すること



中央コミュニティセンター・地域交流センターのテープカット

になっております。

式典で、小池清彦市長は「食料品スーパーは、地域の皆様にとって、なくてはならないものです。五月に、いつフードセンターさんが出店され、今日、中央コミュニティセンターのオープンで、施設全体が完成したことで、国からの補助金の趣旨である『まちづくり』に大いに貢献できるものと思います」とあいさつしました。また、中央コミュニティセンター一階のお風呂について、今年一月に火災に遭われた朝日湯さんのタイル壁画が浴室に取り付けられていることから、小池市長は「朝日湯さんを引き継ぐという面では、朝日湯コミュニティセンターと呼ばれていいかもしれない」と話していました。

続いて、泉田裕彦県知事代理に代わり今井一之県土木部都市局長が知事からのお祝いを代読され、菊田まさき衆議院議員、森ゆうこ参議院議員、黒岩宇洋参議院議員、国土交通省北陸地方整備局長代理の佐藤忠晴北陸地方整備局建政部都市調整官、金谷国彦県議員、関龍雄市議会議長、阿部大爾加茂商工会議所会頭がお祝いを述べられました。

オープン当日には、大勢の市民の皆様がおいでくださいました。心から感謝申し上げます。



森 ゆうこ 参議院議員



菊田 まさこ 衆議院議員



新潟県知事代理
今井 一之 土木部都市局長



金谷 国彦 県議会議員



北陸地方整備局建政部
佐藤 忠晴 都市調整官



黒岩 宇洋 参議院議員



小池 清彦 加茂市長



阿部 大爾 加茂商工会議所会頭



関 龍雄 市議会議員



朝目湯から移設されたタイル画 (女湯)

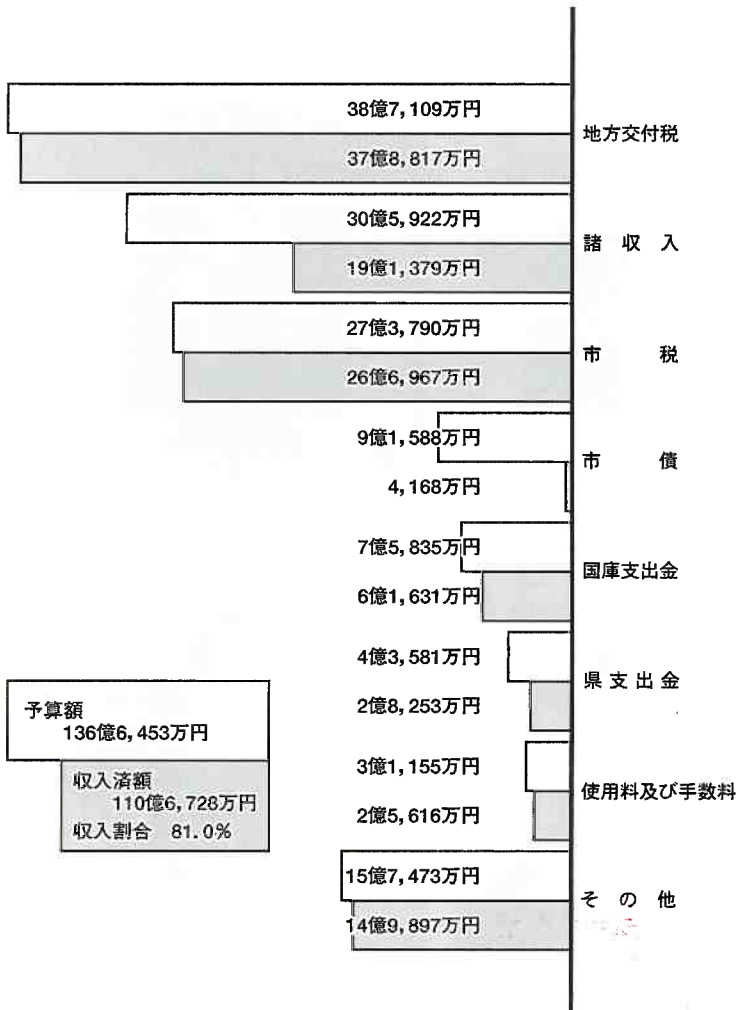


男湯のタイル画

平成17年度 下半期の財政状況

一般会計 総額136億6,453万円

一般会計歳入の状況 (18.3.31現在)



加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか...
市では毎年二回財政のあらましを公表しています。今回は昨年の10月から今年3月末までをグラフと表でまとめました。

市の会計年度は3月末で終わりますが、5月までの整理期間を経て確定します。3月末現在における執行済額の予算に対する割合は、歳入で81・0%、歳出で82・4%となっています。加茂市がどのような施策を行っているか、表とグラフをご覧ください。

市税の収入状況

| 税目 | 調定額 (万円) | 収入済額 (万円) | 収納率 (%) |
|---------|----------|-----------|---------|
| 市民税 | 10億3,491 | 9億3,962 | 90.8 |
| 固定資産税 | 17億4,731 | 13億6,197 | 77.9 |
| 軽自動車税 | 6,045 | 5,656 | 93.6 |
| 市たばこ税 | 1億5,230 | 1億5,229 | 100.0 |
| 特別土地保有税 | 59 | 0 | 0 |
| 入湯税 | 333 | 333 | 100.0 |
| 都市計画税 | 2億19 | 1億5,590 | 77.9 |
| 合計 | 31億9,908 | 26億6,967 | 83.5 |

※調定額とは、皆さんから納めていただく税金の決定額の事です。

| 特別会計 | | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|
| 項目 | 予算額 (万円) | 歳入 | | 歳出 | |
| | | 収入済額 (万円) | 収入割合 (%) | 支出済額 (万円) | 支出割合 (%) |
| 国民健康保険 | 28億8,999 | 24億6,386 | 85.3 | 26億1,520 | 90.5 |
| 老人保健 | 34億1,162 | 31億9,653 | 93.7 | 31億2,479 | 91.6 |
| 宅地造成事業 | 3億5,105 | 1億1,218 | 32.0 | 49 | 0.1 |
| 下水道事業 | 20億6,577 | 12億8,012 | 62.0 | 15億6,583 | 75.8 |
| 介護保険 | 18億6,818 | 18億575 | 96.7 | 17億1,313 | 91.7 |
| 在宅介護サービス事業 | 4億6,288 | 4億3,973 | 95.0 | 4億1,018 | 88.6 |
| 合計 | 110億4,949 | 92億9,817 | — | 94億2,962 | — |

主な補正予算(下半期)

| | |
|--------------|----------|
| ■まちづくり交付金事業費 | 28,928万円 |
| ■災害復旧費 | 3,182万円 |



一般会計歳出の状況 (18.3.31現在)

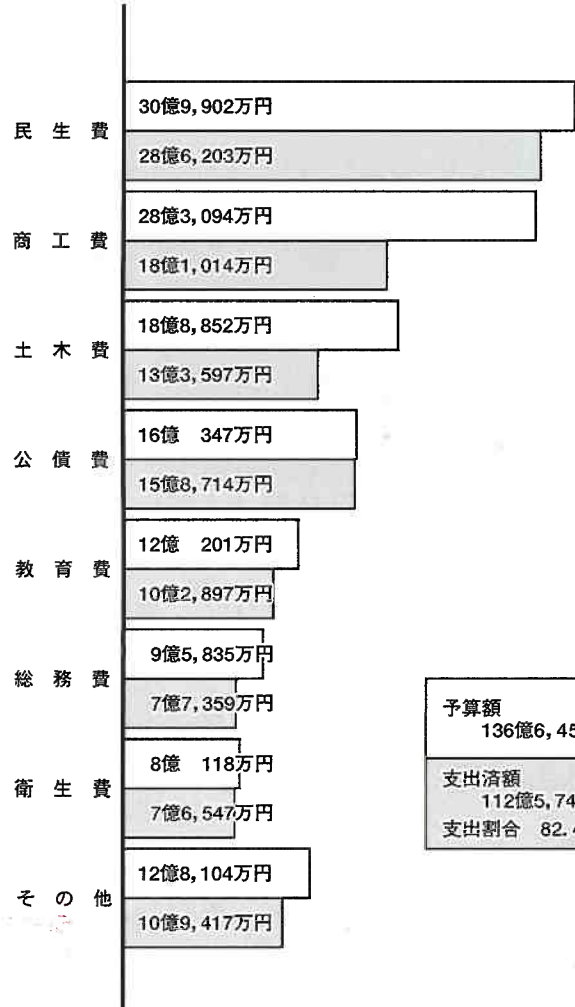
一般会計 市民1人あたりでは

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 人口 | 32,225人 (H18.3.31現在) |
| ■収入額 (歳入・収入済額) | 343,438円 |
| ■支出額 (歳出・支出済額) | 349,340円 |
| ■市税負担金額 | 99,273円 |
| ■市債(国が全額負担する分を除く市の借金) | 287,621円 |
| ■基金の額 (現金のみ) | 41,371円 |

市債現在高は、92億6,859万円 これを返済するとき、 国が4割負担

返済するとき国が全額負担する減税補てん債、臨時税収補てん債、臨時財政対策債を除いた市債残額は92億6,859万円で、これを返済するとき、国が4割を負担します。

| 区分 | 現在高(万円) |
|-------------|-----------|
| 1 総務債 | 9億8,797 |
| 2 民生債 | 15億9,910 |
| 3 衛生債 | 9億8,407 |
| 4 農林水産業債 | 4億6,716 |
| 5 商工債 | 2,719 |
| 6 土木債 | 34億 536 |
| 7 消防債 | 3,983 |
| 8 教育債 | 16億 807 |
| 9 災害復旧債 | 6,666 |
| 10 転貸債 | 8,318 |
| 小計 | 92億6,859 |
| 11 減税補てん債 | 7億7,546 |
| 12 臨時税収補てん債 | 1億6,231 |
| 13 臨時財政対策債 | 17億5,822 |
| 一般会計総計 | 119億6,458 |
| 下水道事業特別会計 | 133億 791 |



| 市有財産の状況 | |
|---------|-----------------------|
| 土地 | 1,245,043㎡ |
| 建物 | 135,899㎡ |
| 構築物 | 226基 |
| 基金 | 13億3,317万円 79,348㎡ |

| 水道事業 | | | | |
|------|---------|----------|---------|------|
| 項目 | 予算額(万円) | 執行済額(万円) | 執行割合(%) | |
| 収益的 | 収入 | 5億4,258 | 5億4,047 | 99.6 |
| | 支出 | 6億1,315 | 5億9,291 | 96.7 |
| 資本的 | 収入 | 8,206 | 6,582 | 80.2 |
| | 支出 | 1億7,397 | 1億5,523 | 89.2 |

桐・松の苗木 無料で差し上げます

◇◇ あなたも植え、育ててみませんか ◇◇

加茂市では、今年度も「桐の苗を植え育てる運動」を展開いたします。また、松くい虫によって枯れていった松をよみがえらせるために、松くい虫に強い苗木を植えていただく「松の苗を植え育てる運動」も展開いたします。是非あなたもご協力ください。

ご希望の方は、無料で差し上げますので「苗木申込書」に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

☆ 差し上げる苗木

桐の苗木（高さ 1.5m～2.0m）

松の苗木（高さ 約60cm・アカマツ・松くい虫抵抗性苗木）

☆ 申し込み方法

- ①申込書を、加茂市農林課（4階）まで提出してください。
- ②郵送でもお受けします。

宛先 〒959-1392 加茂市幸町2丁目3番5号 加茂市役所農林課

- ③電話・FAXでもお申し込みできます。

電話番号 52-0080（内線 416）・FAX番号 53-4679

☆ 申し込み期限 平成18年10月18日（水）

☆ その他

- ・苗木をお渡しする時期は、植栽時期である11月（予定）になります。
- ・苗木のお渡しは、申込者に別途ご連絡いたします。

☆ 問合せ先

加茂市役所農林課 農林土木係 電話番号 52-0080（内線 416）

切——り——取——り——線——
苗 木 申 込 書

住 所 加茂市_____（郵便番号 959-13_____）

氏 名 _____ 電話番号 _____

桐 ご希望本数 _____ 本

松 ご希望本数 _____ 本

第49回総体開幕

七月二十一日、文化会館で総合体育大会総合開会式が行われました。各競技の出場選手と開催役員による入場行進に続き、体育の振興、発展に寄与された方々と、県大会以上で活躍された選手への表彰が行われました。表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

【体育功労者章】▼中林勇(加茂柔道会)において選手・指導者育成に尽力
陣ヶ峰)▼北沢友一(加茂スキークラブ)において生涯スポーツへの取り組みに尽力 田上町)▼近藤敏昭(加茂ス



キークラブにおいて選手育成に尽力

幸町一)▼石崎茂(加茂市野球連盟)において審判員として競技の発展に尽力

前須田)▼関根十九司(加茂市野球連盟)において審判員として競技の発展に

尽力 青海町一)▼泉田周平(加茂市ゲートボール協会)において競技の普及

に尽力 上土倉)▼斉藤富太郎(加茂市ゲートボール協会)において競技の普及

及に尽力 仲町)▼永井幸夫(加茂市ゲートボール協会)において競技の普及

に尽力 天神林)▼川田健(加茂体操クラブ)において選手・指導者育成に尽力

大郷町一)▼田中勝弘(加茂ア

クアコミュニティ)において選手育成に尽力 新潟市)

【優秀競技者章(団体)】▼加茂高校男子体操部(県高校総体・体操競技大会団体総合優勝)▼'05加茂FC(全国

クラブチームサッカー選手権北信越大会優勝 新潟経営大学サッカー部)

【優秀競技者章(個人)】▼中野涼司(北信越高校総体・陸上競技大会八百

m走優勝 新潟明訓高)▼浅野恵未(全国JOCジュニアオリンピック春

季水泳競技大会出場 加茂アコムミ

ユニティ)▼戸島萌美(県高校総体・体操競技大会個人総合五位 加茂高)▼高野耕平(県体操競技選手権大会少

年の部個人総合四位 加茂高)▼船久

保洋平(県体操競技選手権大会少年の部個人総合七位 加茂高)▼野本涼太

(県体操競技選手権大会中学生の部個人総合四位 加茂体操クラブ)▼金子

健三(県体操競技選手権大会中学生の部個人総合二位 加茂体操クラブ)

▼高野雄貴(県体操競技選手権大会中学生の部個人総合五位 加茂体操クラブ)

▼高野栄美里(県体操競技選手権大会小学生の部単バー二位 加茂体操クラブ)▼近藤拓也(県高校総体・体操

競技大会鉄棒三位 加茂高)▼番場

証哉(全日本フットサル大会新潟県大会優勝 県央FC)▼青木淳也(全日

本フットサル大会新潟県大会優勝 県

総体結果



登山

日時 七月二十二・二十三日
会場 燧ヶ岳(ひうちがたけ 標高二三五六m 尾瀬)

※登山は、参加者二十七名で行われました。



硬式テニス

(ダブルス)

日時 七月二十三日
会場 庭球場(駒岡)

【Aクラス】▼男子①袴田敏尚・片岡謙作(加茂ローン)②長谷川弘良・中

島昭(同)③宮原真一・松岡芳夫(KIT)▼女子①志田美津子(グレイ

ト)・中山佐和子(シテイサークル)②林住代(グレイト)・山崎典子(フ

リー)③佐久美みゆき・大桃さおり(加茂テニス)

【Bクラス】▼男子①大桃高行・藤田勝彦(フリー)②佐藤哲朗・鈴木公夫

(加茂高)▼女子①佐藤友理香・吉田彩香(加茂高)②外山幸恵・柳下愛

(同)③川上瞳・鶴巻西(同)

【Cクラス】▼女子①村木由佳・渡辺梓(加茂高)②船久保友梨・永井麻理

(同)③金田美佐子・羽賀富士子(まつたりクラブ)



バレーボール

日時 七月二十三日
会場 勤労者体育センター

【家庭婦人の部】
優勝 つかさクラブ
準優勝 あじさい

加茂の遺跡に魅了された2人の碩才

これまで加茂市には約百七十余りの遺跡が確認されている。遺跡は私たちの遠い祖先の生活の跡で、

地表面に姿を見せる土器や石器などの生活道具のかけらが地下に埋もれた遺跡の存在を雄弁に物語る。加茂で本格的な発掘調査や考古学研究が行われたのはそれほど古いことではないが、古い記録から、かなり前から遺跡の存在が明らかになっていたことが知られる。

また、郷土の遺跡に魅了され、仕事の傍ら一生懸命に土器や石器を収集された碩才の存在を遺跡調査の歩みを語る時には忘れてはならない。先人の苦勞と情熱に思い

を巡らせながら、お二人を紹介したい。

戦前の歩みとしては最近詳らかにされたが、昭和十二年に七谷村診療所の初代所長となった長岡市出身の横山彰太郎氏の収集活動が特筆される。

横山氏は七谷地区で縄文土器や石器を採集された。特に七谷地区では初出となる弥生時代の蛤刃石斧（後に出土地を諏訪ノ沢遺跡として登録）など貴重な遺物が含まれている。資料の採集地点や地名をきちんと記録し、保存状態が良好である点など、真摯な人格が窺われ、学術的価値をさらに高めて

いる。

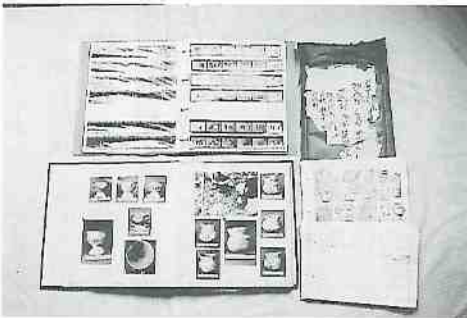
戦後では、やはり歯科医の八百枝茂氏の活躍が挙げられる。その足跡は田上町にも及ぶが、なかでも歯科技術を駆使し復元された縄文時代中期の水源池遺跡と古墳時代後期の千刈遺跡出土品が白眉であろう。地下に埋もれた泥だらけの土器を魅せる展示品として完成させ、多くの方々に感動を与えていることは称賛される。八百枝氏が復元された遺跡出土品は、現在まで市指定文化財として高く評価され、民俗資料館考古展示室の目玉として長らく鎮座している。これらの出土品を見るたびに八百枝氏の顔が思い浮かぶのは私だけではないであろう。

また、岡ノ町から出土した中世の古銭の分類・整理についても指導的役割を果たされ、その研究論文も発表されるなど幅広い見識を発揮されている。写真撮影にも非常に精通され、出土品の写真が多く残されていることも注目される。このほかにも、遺跡を開発から守る上での基礎資料となる遺跡台帳類の整備を行った業績も忘れてはならない。

加茂の風土記



横山彰太郎氏収集資料（『レポート加茂市史』創刊号から転載）



八百枝茂氏作成資料（加茂市民俗資料館所蔵）

（伊藤秀和）

おめでとう

平成十八年度献血功労者知事感謝状
■新潟経営大学

献血活動において、同大学の皆さんから多大なご協力をいただいていることに対し、新潟県知事から感謝状が贈呈されました。おめでとうございます。

おめでとう

コムソモリスク市へ
▼加茂手まりの会から

手まり二十五個
この手まりは、中学生代表団により、コムソモリスク市の子どもたち、学校・教育施設へ届けられました。

人口のうごき

| | |
|----------|--------------|
| 7月1日現在 | |
| 世帯 | 9,987 (+ 8) |
| 人口 | 32,185 (-13) |
| 男 | 15,558 (-10) |
| 女 | 16,627 (- 3) |
| ()内は前月比 | |
| (6月異動分) | |
| 出生 | 14 (男 5 女 9) |
| 死亡 | 27 (男13 女14) |
| 転出 | 43 |
| 転入 | 43 |